

令和元年度 読書活動支援者育成事業南会津地区研修会 実施報告書
(南会津) 教育事務所

1	実施期日	令和元年7月9日(火) 時間: 10時20分~15時20分
2	会 場	下郷町ふれあいセンター
3	出席者数	総出席者数 計 60名 (男性12名 女性48名)
(内訳) 講師(1名)、実践発表者(2名)、読み聞かせボランティア(29名)、学校司書(1名) 小学校保護者(1名)、小中学校職員(4名)、放課後子ども教室関係者(11名) 絆づくりの会(1名)、下郷町教育委員会社会教育担当者(1名) 只見町教育委員会社会教育担当者(4名)、福島県教育庁社会教育課(1名) 南会津教育事務所(4名)		
4	研修会概要	
	(1) 開会式 (10:20~10:30)	
	○ 開会のことば	
	○ 主催者あいさつ【次長兼総務社会教育課長 高橋 正敏】	
	○ 日程説明・諸連絡	
	(2) 講義・演習 (10:30~11:50)	
	○ 講師紹介	
	○ 講義・演習 「伝わる喜び!個性が生きる読み聞かせのために!」	
		KOTOSE音読教室 代表 佐藤 くみこ 氏
	○ 質疑応答	
	○ 御礼のことば	
	昼 食 (11:50~13:00)	
	(3) 実践発表 (13:00~14:10)	
	○ 実践発表 「絵本読み聞かせ活動の実際」	
		読み聞かせボランティア「絵本の窓」 稲垣 優子 氏・加藤 恵子 氏
	○ 質疑応答	
	○ 御礼のことば	
	(4) 情報交換 (14:20~15:10)	
	(5) 開会式 (15:10~15:20)	
	○ 諸連絡	
	○ ひとつこと 【社会教育課 太田 徹 社会教育主事】	
	○ 閉会のことば	



5 感想

【講義・演習】

- 最近とても気になっていた内容だったので、お話を聴くことができ良かった。もう少し聴いていたかった。
- アナウンサー出身ということで発音がとてもきれいで、聴くことに夢中になった。新たな発見ができ、たいへん勉強になった。
- 伝わるように読むということを意識して読み聞かせをすることに気づくことができた。スキルアップ、期待できそうです。
- 読み聞かせだけではなく、日常の会話の中でも役立てたいと思った。
- 音読の必要性、人間力ということや現代の子どもたちが言葉を発する機会が減っていることなど共感した。プロミネンスの4つのポイントも今後に生かしたいと思った。
- 読み聞かせは自分自身にとっても良い効果があると思っていたが、それを改めて実感することができた。声を出しての演習、そしてお話を自分なりに読み砕くことの大切さを改めて感じた。
- 以前に受けた講習会では、感情をこめないで…と聴かされていたのですが、今回の講演では、感情を込めて読むようにとの話で、私自身たいへん納得することができた。
- とても面倒くさいと思っていた学校からの音読の宿題だったが、声を出すことが自信につながり、人間力をつけるなんて!!とたいへん驚き、とても重要だということも知ることができた。子どもと一緒に音読の宿題に取り組んでいこうと思った。
- 発声を含め、読み方のテクニックなどたいへん参考になった。また、あいさつのできない中学生、SNSに頼ってしまっているのでは？と疑問に感じることも多くあったが、授業でも役立てそうなアイデアも聞くことができ良かった。

【実践発表】

- わらべうたの流れるような歌の調子に引き込まれるように聴かせていただいた。
- 普段とても楽しい活動をされている様子が目に浮かぶようだった。自分たちの活動をみんなで少しずつ工夫していかなければと思った。子どもたちにどのようにして伝えていけばよいかを改めて考えさせられた。
- 素敵だった。すぐに使える読み聞かせでの歌や遊び。まねたいものがいっぱいだった。
- たくさんの手作りのものを使って心のこもったお話や数え歌など、子どもたちも楽しいだろうと想像できた。
- まさしく目から鱗であった。お二人のコンビネーションにただただ感心、感動した。もう一度ゆっくり聴きたい。
- 工夫を凝らしたアイデアに富んだ小物等、参考になった。
- お二人の発表は、内容、バラエティーに富んだすばらしいものだった。今後大いに参考にします。
- なかなかすぐに同じようなことはできないけれど、こういう読み聞かせもあるのだということを考えさせられた。
- 子どもたちの心をつかむいろいろな工夫がとても勉強になった。スタッフさん同士の打ち合わせや練習がすばらしいと思った。

【情報交換】

- 他の地域の活動を知る機会がなかなかないので参考になった。
- 読み合わせをしているというお話が参考になった。
- 共通の課題点が分かり、参考になった。
- それぞれの立場で話が弾んで良かった。
- 放課後子ども教室の活動にも役立つお話を聞くことができて良かった。

【ご意見ご要望】

- 音読の仕方の具体的なヒントを得ることができる機会を今後も設けていただきたい。
- 今回の研修会の内容・テーマは、読み聞かせにとっても役立つと思った。
- 読み聞かせボランティアを始めたばかりなので、このような研修会がまた開催されることを希望する。実践方法をもっと学びたい。
- 滑舌について日頃から気になっていたもので、今回の研修会の内容はたいへん参考になった。
- 講師の先生の歯切れがよく、分かりやすい講演で、受講して本当に良かった。
- 有意義な時間を過ごすことができた。
- 今回初めて参加したが、とても素晴らしい研修だった。来年も参加させていただきたい。

6 成果・課題

(1) アンケート結果

◇講義・演習について

大いに参考になった 41名 ある程度参考になった 3名 参考にならなかった 0名

◇実践発表について

大いに参考になった 26名 ある程度参考になった 3名 参考にならなかった 0名

◇情報交換について

大いに参考になった 14名 ある程度参考になった 4名 参考にならなかった 0名

(2) 成果

- 今回は読書活動支援者の技量の向上を目的としていたが、滑舌トレーニングや声の表現方法などを学んでいただくことができてたいへん良かった。
- 周知活動に力を入れたり、元アナウンサーを招聘したりしたことにより、参加者を多く集めることができた。また、下郷町の社会教育担当者が周知活動に奔走してくださった。それにより、読書ボランティアだけではなく、放課後子ども教室の指導員もたくさん参加してくださった。教育委員会との連携がとても大事であることを改めて感じた。
- 郡山の読書ボランティアの方から実践発表をしていただいたことにより、参加者の方々によい刺激を与えることができた。

(3) 課題

- 幼稚園・保育所からの参加者が0であった。チラシを配布したり、教育委員会から呼びかけてもらったりなどの手段は講じたが、残念な結果であった。今後は、実施時期や中身の検討をするなどして、参加者を増やしたい。